

平成 29 年度東京 DMA T 事後検証小委員会報告事項

1. 報告事項：災害時医療支援車（東京 DMA T カー）の使用状況について

平均使用回数及び平均走行距離は以下のとおり。

	平均使用回数	平均走行距離
平成 28 年度	10 回	557 km
平成 27 年度	8 回	531 km

2. 主な検証事案

<事案 1> 連携隊の情報収集について

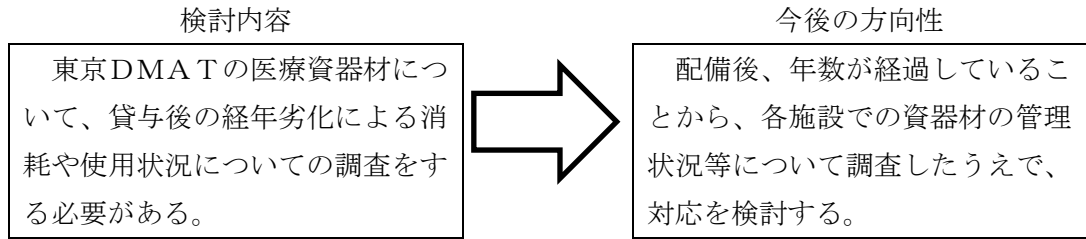
事案概要	検証内容	今後の方向性
連携隊が無線で情報収集する際に、他部隊の交信が途切れず、迅速に情報を収集することができなかった。	無線で情報収集が行えない場合の代替手段を検討する必要がある。	東京消防庁で代替手段について検討し、連携隊に周知する。 連携隊に周知された内容について、事務局から東京 DMA T 隊員に情報提供する。

<事案 2> 現行の配備資器材について

事案概要	検証内容	今後の方向性
東京 DMA T が出場する際、現行の配備資器材のほか、医療機関独自の判断で資器材を追加して携行している。 本事案では、各医療機関の判断で携行している資器材（骨髄針やピカネイトなど）が有効に活用された。	現行の配備資器材リストの内容について、刷新を検討する必要がある。	現行配備資器材の各医療機関での使用状況や、各医療機関の判断で携行している資器材の使用状況を事務局にて把握し、検討を行う。

3. その他

(1) 東京DMATの配備資器材について



(2) 東京DMATの装備品（ユニフォーム等）について

